

## 令和3年度第7回公立大学法人滋賀県立大学教育研究評議会 議事録

日時・場所： 令和3年12月7日（火）13：30～14：10 教授会室

出席者： 廣川理事長（議長）、青木副理事長、山根理事、安原理事、高橋理事、井手環境科学研究院長、南川先端工学研究院長、棚瀬人間文化学研究院長、伊丹人間看護学研究院長、村上環境科学部長、徳満工学部長、京樂人間文化学部長、糸島人間看護学部長、笹田委員、澤委員、八里事務局次長

欠席者： 矢吹委員

事務局： 山田総務課長、高木財務課長、寺村経営企画課長、武田学生・就職支援課長、郡田教務課長、山中地域連携・研究支援課長、塚本参事、杉田課長補佐、高谷主査

令和3年度第6回公立大学法人滋賀県立大学教育研究評議会議事録（案）について、原案のとおり承認された。

### 議 題

#### 審議事項

- 1 公立大学法人滋賀県立大学研究推進委員会規程の一部改正について  
安原研究・評価担当理事より資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。
- 2 滋賀県立大学大学院環境科学研究科と中国湖南師範大学法学院との間の博士後期課程大学院生の相互派遣に関する個別協定の締結について  
井手環境科学研究院長より資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

#### 報告事項

- 1 令和3年度卒業・修了予定者の進路状況等について  
武田学生・就職支援課長より資料に基づき報告があった。
- 2 令和4年度滋賀県立大学学校推薦型選抜等特別選抜試験の受験状況について  
郡田教務課長より資料に基づき報告があった。
- 3 各委員会等の結果の概要について
  - (1) 令和3年度第8回衛生委員会
  - (2) 令和3年度第2回広報戦略委員会
  - (3) 令和3年度第3回教務委員会
  - (4) 令和3年度第2回研究推進委員会
  - (5) 令和3年度第2回地域共生センター運営委員会

[主な意見・質疑等]

・ 広報戦略委員会内でオープンキャンパスの基本的な方針を決める意図は何か。  
→ 従来のオープンキャンパス実施担当者会議では、基本的な方針を定めるといった

意思決定ができず、特に新型コロナの関係で、オープンキャンパスの実施の有無をどこで決定するのかといった問題が起きた。学外への発信は一つの方針で行うべく広報戦略委員会で決めることとした。なお、来年度についても従来どおりオープンキャンパス実施担当者会議でオープンキャンパスの運営を行う。位置づけ等については将来的な検討事項である。

- ・学生の学ぶ権利の確保や学生の学習意欲がそがれることのないよう履修登録の後期の追加登録を認めてほしい。また、取り消し期間の3日間を延長してほしい。
- やむを得ない状況や前提条件となる前期科目の履修状況に応じて、追加登録や変更は認めている。取り消し期間については、すべての曜日の授業を1回以上受講した時期になるよう3日間を設けている。また、シラバスのフォームを変更し、予習復習を含む内容を記載することで、シラバスと実際の受講時の内容の不一致が少なくなるよう努めていく。